



正義は勝つ

大曲仙北春季大会 総体への確かな手応え

4月29・30日、5月3・4日に行われた大曲仙北春季大会では、各競技への参加選手がここまでの練習の成果を発揮し、よい内容の試合を繰り広げ、6月の総体に自信となってつながるよい大会となりました。入賞チーム・選手を紹介します。

バレーボール部 準優勝 (セット数)

- 1回戦 協和・中仙合同チーム 2-0 大曲西
- 2回戦 協和・中仙合同チーム 2-0 神代
- 準決勝 協和・中仙合同チーム 2-1 仙北
- 決勝 協和・中仙合同チーム 0-2 大曲

本校バレーボール部員は2名しかおらず、部員8名の中仙中学校との合同チームで、6月の総体についても出場します。



野球部 第3位 (30日が雨のため順延となり、5月4日までの開催となりました)

- 1回戦 協和・南外合同チーム 8-3 生保内中
- 2回戦 協和・南外合同チーム 3-2 美郷中
- 準決勝 協和・南外合同チーム 0-3 仙北中

なお、野球部は本校野球部員で12名おり単独でも大会に出場できますが、南外中学校が全部員で4名しかおらず、単独チームとして出場できず救済のため協和中学校と合同チームを組むことになりました。6月の総体についても合同チームで出場します。



- 男子ソフトテニス部 個人戦 第3位 ○○○○・○○○○ペア
- 女子ソフトテニス部 個人戦 準優勝 ○○○○・○○○○ペア

*団体戦は30日の雨で中止。



柔道部 (大曲仙北青少年保護育成柔道大会 5月3日開催)

- 女子団体戦 優勝
- 女子個人戦 第3位 ○○○○

新型コロナ、5類感染症への移行後の学校生活について

5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行されたことを受け、学校の出席停止の期間の基準が「発症の翌日から5日間」に短縮されます。ただ、症状が軽くなってから1日経過していることも必要とされているうえ、発症の翌日から10日間はマスクの着用が推奨されています。また「濃厚接触者」の特定が行われなくなることから、家族が感染した場合でも、直ちに出席停止とする必要はなくなります。

学校では、引き続き「生徒の健康状態の把握」「適切な換気の確保」「手洗い等の手指衛生」等の対策を講じて感染防止に努めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、4月上旬にお知らせしていた、バス利用の際のマスク着用の推奨はもうしばらく継続しますが、給食準備の際の全員のマスク着用は、「給食当番はマスクの着用」に変更いたします。給食についても、これまでの黙食は必要ないとされており、大声での会話を控えながら、楽しい給食にしていきたいと考えています。

今後、地域や学校において感染が流行してきた場合は、「近距離」「対面」「大声」での発声や会話を控え、生徒間に触れ合わない程度の身体的距離を確保するなど、一時的な措置を講じていきます。

